

リハビリテーション科研修医・医師募集

相澤病院リハビリテーション科では広くリハビリテーション科専門医を目指す研修医・医師を募集しています。

リハビリテーション科医師は、現在我が国では最も不足している診療科医師であることが明らかにされています（平成22年9月30日朝日新聞記事 http://www.ai-hosp.or.jp/sinryouka/center_riha/news/2010/101021.pdf）。またリハビリテーション科専門医は、日本専門医認定機構では基本領域18科・I群の専門医の一つとして位置づけられており、日常診療では他の診療科では担うことが不可能な最も基本的な専門科領域の専門医として位置づけられています。

相澤病院リハビリテーション科における研修特色

1. 急性期病院における早期リハビリテーションの習得が可能、特に脳卒中の早期リハビリテーションに関しては国内実績トップの治療成績（グローバルヘルスコンサルティング社GHCによるベンチマーク分析による）、Stroke Unitとしての機能を有するリハビリテーション科単科病棟（38床）での急性期からの治療・早期リハビリテーションの研修が可能。日本脳卒中学会専門医の受験資格取得可能。
2. 回復期リハ病院とのクリニカルパス（「中信脳卒中診療連携計画書」）による緊密な連携ネットワーク、回復期リハ病院退院後には再度相澤病院リハビリテーション科外来診療にてフォローを担う
3. リスク管理下における早期離床、全床DPC診療の急性期病院における病棟における新しいリハビリテーションシステム、365日のリハビリテーションシステム
4. 相澤病院は「長野県高次脳機能障害支援拠点病院」であり、高次脳機能障害のリハビリテーション、早期診断、神経心理バッテリー・画像所見を駆使した適切な診断と認知リハビリテーション、復職に向けた援助（職業リハとの連携）、社会生活支援を、リハビリテーション科医師として担う、認知リハビリテーション研究会（慶応義塾大学精神医学教室主催）・高次脳機能障害学会などでの研究発表

5. 摂食嚥下障害のリハビリテーション、VE、VFの修得、治療的電気刺激での嚥下機能改善、院内には摂食嚥下障害患者をスクリーニングするシステムが機能しています
6. 慢性期における在宅でのリハビリテーション、訪問リハビリテーションシステム
7. 歩行分析（下肢筋電図、Gait Judgeを用いた歩行分析）、新しい下肢装具処方のある方の研究（京都大学人間健康科学系専攻・リハビリテーション科学コースとの共同研究）
8. 脳卒中後上肢機能改善のためのTMS治療（慈恵医大リハ医学教室との共同研究）、TMSを用いたニューロリハビリテーション、脳の可塑性の研究